

店頭から  
「こんにちは」

第96回

## 進路相談を受けて伝えた大切なこと 薬剤師の仕事の多様さ



昭和のころ、町のおクスリ屋さんには、よろず相談所の機能もありました。  
かぜは当然、健康相談にいたるまで、まず、おクスリ屋さんへ顔を出したのです。

### まずおクスリ屋さんへ

例えば、虫下し。寄生虫の大きさや特徴にはじまり、回虫・ギョウ虫、サナダ虫といった種類まで、おクスリ屋さんの店頭では、お教えしていました。

さすがに現在、寄生虫がいる人は、ほとんどいませんが。

ともあれ、「軽い病気やケガなら、病院へ行く前におクスリ屋さんへ」という意識を拡めようと、厚生労働省もいろいろと試みています。

ただ、5年や10年で、変化していくのは難しいと感じているところですよ。

### 薬剤師はカッコいい？

ある日、こういわれました。「本来の形で、町の住民に貢献されている宮川先生のお話を聴かせてあげてください」

何度もご来店いただいているお母さんからの相談で、とてもうれしかったものです。

実は高校3年生の娘さんが、将来、栄養士になるか、薬剤師にな

るかで、悩んでいるのだとか。

翌日、早速、娘さんが来られました。

若い方は健康なこともあり、おクスリ屋さんに来る機会は、あまりありません。そこで、まず店内をグルリと見学してもらいつつ、「動機は？」と尋ねました。

すると、「薬剤師は、何となくカッコいい」と。

しかし、「薬剤師はもう、飽和状態だから就職に困るかも」ともいいます。

とはいえ、都市部に集中しているのが現状で、郡部へ行くと、薬剤師は見つけにくいものです。

薬剤師の仕事は調剤だけではないことも伝えました。

例えば、大学との共同研究への参加。私自身、健康食品の試験や運動の指導まで、種々の知識と経験をお伝えするのも、薬剤師の使命だと思っています。

### 来春の楽しみ

実は、栄養士が候補になったのは、「絵を描くのが好きで、美術部に入っていて、何回か入選もし

ており、仕事に生かせるかも知れないから」というのです。進学指導の先生に勧められたとか。

「献立に添えるイラストに役立つのでは」といいます。

ただ、献立をつくるだけが栄養士の仕事ではないことなども伝えました。

「絵がお好きなら、趣味として、続けては？」とアドバイスも。

翌日、お母さんがお礼に来られました。「娘もいろいろ感じるところがあったようで、希望する進路の提出書類を、スラスラと文書にして提出できました」とのこと。

来春、「希望に満ちた報告があればいいなあ」と楽しみにしているところです。

宮川薬局(宮城県仙台市)代表  
薬学博士・薬剤師

みやがわとしじ  
宮川季士先生



### プロフィール

1976(昭和51)年、東北薬科大学(現・東北医科薬科大学)卒業。'78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。'87(同62)年、薬学博士学位。地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。

「師走です、大過なくお過ごしください」